

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社 学研データサービス

②施設・事業所情報

名称： わかばの森保育園	種別： 認可保育園
代表者氏名： 園長 中村 雅彦	定員（利用人数）： 35（36）名
所在地： 241-0801 神奈川県横浜市旭区若葉台2-14-1 若葉台小学校内	
TEL： 045-924-0177	ホームページ： https://hoikunokai.net/morinodai/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日	2005年4月1日
経営法人・設置主体（法人名等）：	社会福祉法人 歩育の会
職員数	常勤職員： 15名 非常勤職員： 4名
専門職員	保育士 15名 栄養士 1名
	看護師 1名 調理員 3名
	用務員 0名
施設・設備の概要	居室数： 保育室2室、調理室、事務室、トイレ2室 設備等： テラス

③理念・基本方針

<保育理念>
子どもひとりひとりの最善の幸せを願う

<保育方針>

- ・保護者と共感しあえる保育
- ・人間形成と食育
- ・自然との関わりを大切にしたい保育

④施設・事業所の特徴的な取組

園は小学校の敷地内にあり、定員35名の家庭的な雰囲気の中で保護者と協力して温かな保育を実施しています。さまざまな活動で異年齢保育を取り入れるとともに、小学校のジュニアボランティア（5、6年生）が園のお手伝いに来園するなど、小学校との交流を多く取り入れています。園舎から小学生の出入りが見え、自然な形で交流ができており、小学校の校庭や施設の一部も使用しています。園と小学校の職員間での連携も良く、就学への接続がスムーズになっています。付近には公園や広場が多く散歩によく出かけています。日常的な散歩のほか、月に一度「歩こう大会」として近隣の公園に出かけるなど、子どもたちが楽しみながら体を動かせるよう工夫しています。蚕やざりがにの飼育を通して身近な自然とも触れ合えるようにしています。このような環境の中で子どもたちは伸び伸びと過ごしています。

また、子どもたちの興味や関心を広げるために、外部の講師による英語や体操、リトミック、理科（科学）遊びを実施しています。体操は年間カリキュラムの中にマットや跳び箱、平均台、鉄棒などを設定し、パラバルーンや組体操などにも挑戦しています。リトミックは1～5歳児が楽しんでいきます。5歳児は園バスで系列の本園に行き、本園の5歳児といっしょに理科（科学）遊びとして「風船スライムで遊ぼう」「くっつくもので遊ぼう」など科学の楽しさに触れています。そのほか、子どもにとっての食生活の大切さを考え、栽培からクッキングまで一貫した流れで食育を行っています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年5月20日（契約日）～ 2022年2月10日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1 回（ 2016 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

◆自己評価、保護者アンケートを通じて、保育の質の向上に取り組んでいます

職員は年間を3期に分けて個々に自己評価を行い、日ごろの保育を振り返っています。園長は面談を通じて、職員の振り返りを支援し、課題の共有に努めています。個人の自己評価を積み上げ、年度末にこれを総合化して年に一度、園の自己評価を行っています。また、年度末には保護者アンケートを実施しています。園の自己評価、保護者による他者評価を通じて園の課題を抽出し、解決策を次期の事業計画に反映しています。さらに3月には、抽出された課題をテーマに設定し、解決策を導き出し、実践できるよう園内研修を行っています。なお、園の自己評価、保護者アンケート結果はホームページで公表し、運営の透明性の確保に努めています。

◆職員全体で子どもの育ちを共有し、保育の実践につなげています

園では、職員全体で、すべての子どもの育ちを共有し、温かみのある家庭的な雰囲気を大切に、保育にあたっています。デイリープログラムには、子どもたちが安定して一日を過ごすために、配慮すべき事項や援助方法を詳細に記載しており、日々の保育実践を行う中で、園の目ざす保育の方向性について、職員間での共通理解を深めています。職員は、活動や生活の場面を通して、子ども一人ひとりの成長をこまやかに捉え、会議などで各クラスの振り返りを報告し合って、個々の成長の様子を共有しています。子どもたちは、職員に見守られながら、異年齢での活動や食育活動、外部講師による活動など、さまざまな体験を積み重ねながら、成長しています。

◇改善を求められる点

◆子どものプライバシーに配慮され、くつろげる環境設定の工夫を期待します

園は小学校の敷地内の保育園としての良さを生かし、小学生との交流のほか継続的な学びの機会を多く持つことができる環境にあります。保育室は1、2歳児と3～5歳児の2部屋になっており、基本的には1、2歳児と3～5歳児の異年齢保育を実施していますが、年齢別の保育も導入しています。職員は子どもがくつろげ、プライバシーを確保できる環境設定のため、保育室のレイアウトの工夫をさまざまに試みてきています。しかしながら1、2歳児の保育室は静かに遊びたい時やおむつ替えなどの際にプライバシーの確保が難しい環境にあります。今後も1、2歳児が落ち着いて過ごすための環境について、職員間で話し合っ工夫されることを期待します。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

わかばの森保育園の日々の保育や運営について見直す機会をいただいたと思い、受審させて頂きました。評価項目を一つ一つ事例や根拠を基に自己評価を行いました。自己評価を行っていく中でこれまで以上の改善が必要なことや、いま行っていることの自信など、学ぶことや気付いたことが多くあり、日々の保育や運営に多く取り入れることができました。運営側や保育士もスキルアップや資質向上にとても役に立ちました。第三者評価の評価調査者側からも大変高い評価をいただき、とても喜んでおります。また、わかばの森保育園の全職員にも感謝しております。

保護者の皆様にはお忙しい中アンケートにもご協力いただき、本当にありがとうございました。皆様から頂いた意見などには職員が勇気付けられるご意見もたくさんありましたが、課題であるご意見もありました。来年度の改善課題の参考にさせていただきたいと思っております。現状で満足することなく、更なる向上を目指して参ります。

今回の評価に満足することなく、なお一層子どもたちの安全、健やかな成長を見守りながら温かい家庭的な保育園でありたいと思っております。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり